

報道機関 各位

いきいき市民活動情報

「12.8 慰霊の花火打上げ」実行委員会から、お薦めのイベントに関する情報が寄せられました。

については、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ、長岡市民の「市民力」や「地域力」を生かした活動を、貴社で取材くださいますようお願いいたします。

| | |
|-------------|--|
| 標 題 | 平和の尊さを次世代へ伝えよう！ 第 14 回 「12 月 8 日 鎮魂と平和の花火打上げ」を開催 |
| 日 時 | 12月8日（日）午後4時～7時30分 |
| 場 所 | 千秋が原ふるさとの森 アトリウム（長岡市千秋3-315-1） |
| 内 容 | イベントの主旨 2011年12月8日、日米開戦から70年の節目の年に鎮魂の花火「白菊」を上げられました。以降、毎年この日に花火が打ち上げられています。 太平洋戦争犠牲者や世界の各地でなお続く戦争やテロ犠牲者への鎮魂と世界平和を花火に託し、対米開戦に反対しながらも抗しきれず真珠湾攻撃を指揮した山本五十六・連合艦隊司令長官の出生地である長岡から「命と平和の大切さ」を全国、世界へ発信します。 1 主な内容（スケジュールなど詳細は別紙のとおり） (1) 「平和をつなぐ」トークショー（午後4時から） (2) 「鎮魂と平和」の花火打上げ（午後5時から） (3) 祈りの調ベコンサート（午後5時15分から） 2 主 催 「12.8 慰霊の花火打上げ」実行委員会 3 来場者 約150人（予定） |
| 問 い 合 わ せ | 「12.8 慰霊の花火打上げ」実行委員会 会長 渡辺 千雅 |
| 情 報 提 供 課 名 | 庶務課 五十嵐 電話0258-39-2203 |

日米開戦から83年。今なお世界の戦争は続く...

鎮魂と世界平和の祈りを夜空へ

世界中の
爆弾を
すべて
花火に
かえよう！

を合言葉に
平和への
物語が
はじまった。



撮影協力：井上宏朋氏(花火)・吉澤義孝氏(集合写真)
渡辺芳夫・酒井弘剛

2024.12.8 16:00~19:30 【入場無料】

第1部/16:00 「平和をつなぐ」トークショー・「平和の灯」点灯

第2部/17:00~ 鎮魂の花火白菊と平和の花火金冠打上げ

第3部/17:10~ 「祈りの調べ」コンサート

・ひなた - 加藤和幸with love & peace
・Peace of forest (島山徳雄・深田美恵子・加瀬典子)
・e-Necca (嘉瀬遙・加藤奏樹)・藤間藤富三・片野大輔・藤真真弓・秋丸八恵子など

主催：「12.8 慰霊の花火打上げ」実行委員会

共催：長岡市・長岡アロハクラブ

協賛：新潟日报社, 長岡商工会議所, ㈱高田建築事務所, ㈱エヌ・シー・ティ, ㈱原 信, ㈱NST新潟総合テレビ,
FMながおか80.7, (特非)ながおか生活情報交流ネット, 吉乃川㈱, (一財)公園財団 越後公園管理センター, 今泉道雄,
杉本俊夫, ㈱鶴亀社, (一社)長岡観光コンベンション協会, 今井勇, 牧野忠昌, 牧野忠慈, 野村圭介, 井上スタジオ,
東日本大震災救援ボランティアチーム「フェニックス救援隊」, マイスキップ, ㈱とっと 桜井カソエ

後援：長岡市教育委員会・Sunsettownk実行委員会・長生橋を愛する会・㈱田中組
平和の森コンサート実行委員会・嘉瀬煙火工業

12.8慰霊と平和の花火打上げ・ご協力をお願い

※12.8「白菊」花火打上げのご寄付を募っています。ご協賛いただける方は、
下記口座へお振込願います。「協賛領収書」が必要な方はお申出ください。

●個人寄付/10千円～

●ご協賛/10口1万円～ ※ご協賛いただいた方のお名前はFacebookに掲載
<https://www.facebook.com/shiragiku1208/>

振込先：第四北越銀行 長岡市役所支店(支店番号022)

口座番号：普通預金 2010695

名義：「12.8慰霊の花火打上げ」実行委員会

「ジュウニヤナチ イレイノハナビウチアガ」ジッコウインカイ

●ご協賛・ご寄付のお問合せ 渡辺千雅 (090-4618-2461)



日米開戦から83年。

長岡ホノルル姉妹都市締結(2012年3月2日)

2024.12.8 (日)
Since 2011.12.8

場所：千秋が原ふるさとの森 アトリウム

長岡市千秋3-315-11 (ハイブ長岡近く)

●花火に関する問合せ：長岡市総務部庶務課 0258-39-2203

日米開戦から83年。12月8日17時、鎮魂と平和の白菊を夜空に捧げます。

世界中の爆弾をすべて花火にかえよう！

第14回

戦争犠牲者への鎮魂と平和への願いを長岡の地から発信。



12月8日は、日米開戦の日

●戦争で亡くなった方々の尊い犠牲の上に、私たちの平和と繁栄があります。この日の花火打上げが、「命と平和の大切さ」を考えるきっかけになりますように。戦後、長岡の人びとが花火に託してきた思いとは…。震災や震災、苦難から立ち上がる勇氣、そして手を差し伸べて下さった人々への感謝。かつて敵国であった御霊に手を合わせる博愛の心。

●これこそが「長岡魂」です。その美しい日本人の心・長岡魂を、次世代に伝えていきたいと思います。
●「世界中の爆弾をすべて花火にかえたい、そして二度と空から爆弾の降って来ない世の中になって欲しい」とは長岡の花火師・嘉瀬誠次さんの言葉です。
●この日の打上げは、「戦争やテロ犠牲者への鎮魂」と「世界平和」を花火に託し、真珠湾攻撃の総指揮官・山本五十六さんの出生地である長岡から、「命と平和の大切さ」を全国、世界に発信してこうと

いうものです。

●2015年、終戦から70年を迎えた8月15日、長岡市は真珠湾で白菊を打上げ、長岡花火が「平和の花火」であることを世界に知らしめました。
●忘れられがちな日米開戦の日。2011年開戦70年にスタートした「12・8鎮魂と平和の花火打上げ」を、今後も市民の力で継続していきたいと願っています。どうぞ、お力をお貸しください。

●慰霊の花火「白菊」とは
●ソ連崩壊の前の年、シベリア抑留体験者の嘉瀬誠次花火師は、日本兵6万人が眠る、バロフスタのアムール川河畔で鎮魂の花火「白菊」を打上げました。「白菊」は戦友への手向けの花火として、この日のために、ご自身が考案し、命名されたものです。1990年7月14日、万感迫る中、シベリアの夜空に白菊を含む3千発を打上げました。
●12月8日、長岡での白菊打上げは毎年、嘉瀬

注目!

煙火工業さんにお願ひしています。
花火に込められた想ひ

●毎年12月8日に打上げられる花火には3つの想ひが込められています。

- 1つは太平洋戦争犠牲者への鎮魂(白菊)
 - 2つは今なお続く戦争・テロ犠牲者への鎮魂(白菊)
 - 3つは世界平和への願ひ(金冠)です。
- 本年も午後4時に、日米開戦83周年、長岡ホノルル友好姉妹都市締結12周年を迎え、「平和をつなぐ」トークショーを開催します。

●鎮魂と平和の花火打上げは午後5時になります。千秋が原ふるさと森「アトリウム」玄関前に献灯台を設けていますので、こちらにお集まりください。



皆さまと一緒に、祈りを捧げたいと思います。
●長岡空襲にも耐え抜いた三代目長生橋は、12月1日から8日まで「長生橋を愛する会」のご協力、白色にライトアップされ、花火と共に鎮魂と平和のメッセージを発信しています。
●「祈りの調べ」コンサートでは、長岡アロハクラブや県内アーティストたちの、心に響くライブをお楽しみください。舞台上に飾られた中之島の大凧には当会の合言葉「世界中の爆弾をすべて花火にかえよう！」が揮毫されています。長岡アロハクラブ制作の「白菊タベストリー」も必見です。



撮影協力：井上宏朋氏(花火)・吉澤義孝氏(集合写真) 渡辺芳夫・酒井弘剛(会場)

▼当会の同志でいらした...
【右下】長岡空襲の語り部・金子登美さん(87)は令和3年(2021)6月にご逝去。
【左下】嘉瀬誠次花火師(101)は令和5年(2023)12月14日にご逝去されました。 合掌



●「祈りの調べ」コンサート

※出演予定アーティスト
ひなた
加藤和幸 with love & peace
Peace of forest
(倉山徳雄・深田美恵子・加藤典子)
e-Necca (嘉瀬遥・加瀬泰樹)
藤間藤富三
片野大輔
権藤真弓
秋丸八恵子



12.8慰霊と平和の花火打上げ・ご協力をお願い

※12.8「白菊」花火打上げのご寄付を募っています。ご協賛いただける方は、下記口座へお振込願ひします。「協賛領収書」が必要な方はお申出ください。

- 個人寄付/1口千円～
- ご協賛/1口1万円～

※ご協賛いただいた方のお名前はFacebookに掲載させていただきます。
<https://www.facebook.com/shiragiku1208/>



振込先：第四北越銀行 長岡市役所支店(支店番号022)
口座番号：普通預金 2010695

名義：「12.8慰霊の花火打上げ」実行委員会
「ジュウニエナチ イレイノハサヒウチアゲ」ジッコウインカイ

●ご協賛・ご寄付のお問合せ 渡辺千雅 (090-4618-2461)